

公共施設トイレの洋式化の整備推進について

トイレは、観光やビジネスなどで本市を訪れる方が、街の印象を決める大切なポイント。

3K状態や和式トイレでは、行政の対応力やおもてなし評価に疑問符が付く。市管理施設の洋式トイレの現状は。

トイレに関する市民 نيوز調査や要望等について。

都市建設部長 市政懇談

会で広場トイレ洋式化の要望が1件あり。結城駅トイレバリアフリー化のご意見もあり、事業化に向けた協議を進めている。

学校等での救急車利用に伴う選定療養費用について

救急車搬送で緊急性が認められない場合、選定療養費を患者本人や保護者が支払う制度を、県が全国に先駆けてスタート。

教育の現場では救急車要

全洋式化への目標設定とその推進について。

都市建設部長 結城駅南
口北口トイレは全て洋式。
公園の大便器洋式化率は約46%、市民情報セン

ターの洋式化率は約73%。

境の整備は、洋式トイレの普及状況等の観点からも重要な課題と認識。国庫補助金等の活用を図り、計画的な整備に努める。

請を躊躇する懸念もあり、自治体が選定療養費を補助する動きもある。本市の状況は。

教育部長 選定療養費を徴収された事例は、保育所・小中学校・放課後児童クラブ、いずれもない。

緊急時であると判断した場合は、躊躇わざ救急車を要請すること、判断がつかない場合等は、茨城県救急電話相談へ相談することを、関係部署に指導していく。

今後、保育所や学校等の現場から選定療養費を免除したり、市が負担することも検討すべきでは。

市長 県の動向を注視し安心して暮らせる仕組みづくりを実施していく。



選定療養費の除外を！

選定療養費の免除または補助“やればできる!!”



沼田 育男
(ぬまた やすお)

録画映像
はこちら

